

第43回風力エネルギー利用シンポジウム開催要項

名 称 : 第43回風力エネルギー利用シンポジウム

開催目的 : 風力エネルギーの利用や導入拡大に向かって国内外の最新状況と課題等について、その理解、促進を図ることを目的とする。

経緯・背景・内容 : 別紙1

開催日 : 令和3年11月18日(木)、19日(金)
(1日目/依頼講演、2日目/一般研究発表)

1日目のプログラム : 別紙2(予定)

会 場 : オンラインによる開催

参加費	正会員	15,000円
	学生会員・一般学生	3,000円
	協賛・後援団体所属	15,000円
	一般	20,000円

参加者数 : 約300名(予定)

主 催 : 一般社団法人日本風力エネルギー学会

協 賛(予定) : 一般社団法人日本小形風力発電協会、一般社団法人日本風力発電協会
(五十音順)

後 援(予定) : 国立研究開発法人産業技術総合研究所、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構、一般財団法人新エネルギー財団、一般社団法人ターボ機械協会、公益財団法人日本科学技術振興財団、一般社団法人日本風工学会、一般社団法人日本太陽エネルギー学会、一般社団法人日本電機工業会、風力発電推進市町村全国協議会(五十音順)

連絡先 : 〒102-0021 東京都千代田区外神田6-10-12 KENTビル4階
一般社団法人日本風力エネルギー学会
第43回風力エネルギー利用シンポジウム事務局 担当 木村 雅章
TEL:03-6284-2310、FAX:03-6284-2320 E-mail:sympo@jwea.or.jp

経緯： 当会は、1973年の石油危機によって石油代替エネルギーの開発の必要性が高まったことを契機として1977年11月に設立された日本風力エネルギー協会をその前身としており、2017年には、創立40周年を迎えました。『風力エネルギー利用シンポジウム』は、1979年に第1回を開催以来、風力エネルギーの利用を広く社会に普及させることを目的に例年開催しています。

背景： 環境エネルギー問題は地球規模の社会的課題であり、国内外で低炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。菅首相は、2020年11月のG20サミットで2050年に温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする脱炭素社会の構築を宣言しました。2020年12月の総合資源エネルギー調査会基本政策分科会では、2050年の総発電量に占める再生可能エネルギーの比率について50-60%を参考値にする案が提示されています。また、経済産業省は、2021年7月21日にエネルギー基本計画の素案で、2050年のカーボンニュートラル（脱炭素化）に向け、2030年度の電源に占める再生可能エネルギーの割合を36-38%まで大幅に拡大することを掲げました。

2050年のカーボンニュートラルの目標を達成するためには、再生可能エネルギーの中でも、特にポテンシャルが膨大な洋上風力発電の導入拡大を図る必要があります。この状況に対応して、洋上風力の導入拡大を目的として2019年4月に施行された「再エネ海域利用法」に基づき着実にプロセスは進んでいます。2020年7月には、経済産業省と国土交通省が主導して「洋上風力の産業競争力強化に向けた官民協議会」が始まりました。同年12月の第2回官民協議会では「洋上風力産業ビジョン」として、「2030年までに1,000万KW、2040年までに3,000~4,500万KW」という世界有数の野心的な導入目標が政府から発表され、風力発電産業育成の呼び水になっています。これら一連の施策が風力エネルギーの利用拡大に結び付くことが期待されています。

内容： 本年度のシンポジウムは、このような状況を鑑み、第1日目の午前には、2019年にノーベル化学賞を受賞された産業技術総合研究所ゼロエミッション国際共同研究センター長の吉野 彰先生からのメッセージを紹介するとともに、斯界の第一線で活躍されている方々を講師に迎え、風力エネルギーに係る最新情報と今後の方向性についてご講演をいただきます。午後には洋上風力発電における人材育成の取り組みについて、関係機関からご講演をいただきます。さらに、学会関係者より人材育成と女性活躍への取り組み状況等について発表いたします。第2日目は、一般研究発表の場として、例年通り風力エネルギーの高度利用および関連技術の新たな進展に関する学術論文の発表を行います。

今後、本シンポジウムが我が国の風力発電の技術進歩ならびに風力発電産業の活性化に寄与するものになることを心から希望し、皆様の参加と活発な議論を期待いたします。

別紙 2

第43回シンポジウム初日プログラム(案)

11月18日(木)依頼講演、11月19日(金)一般研究発表

依頼講演(司会:本田 明弘 副会長)

No.	仮題	ご講演者(予定)	始め	終り	時間(分)
	開会挨拶	前田 太佳夫 会長	9:30	9:35	5
1	吉野彰先生メッセージ	国立研究開発法人産業技術総合研究所 ゼロエミッション国際共同研究センター長 吉野 彰 氏	9:35	9:40	5
2	我が国の風力発電と促進政策について	資源エネルギー庁 新エネルギー課 課長 能村 幸輝 氏	9:40	10:20	40
3	洋上風力発電に関する環境整備について	国土交通省 港湾局 海洋・環境課 課長 中原 正顕 氏	10:20	10:50	30
4	脱炭素社会の構築に向けた風力発電への期待	環境省 地球環境局 地球温暖化対策課 課長 小笠原 靖 氏	10:50	11:20	30
5	風力発電の安全に関する最近の動向について	経済産業省 電力安全課 再生可能エネルギー担当 課長補佐 日野 裕司 氏	11:20	11:50	30
6	NEDOにおける風力発電研究開発について	新エネルギー・産業技術総合開発機構 風力・海洋グループ 統括研究員 佐々木 淳 氏	11:50	12:20	30

テーマ1: 我が国の人材育成の取り組み(司会:三保谷 明 副会長)

No.	仮題	ご講演者(予定)	始め	終り	時間(分)
7	JWPAの洋上風力発電における人材育成の取り組み	日本風力発電協会 代表理事 加藤 仁 氏	13:30	14:00	30
8	北九州市の取り組み	北九州市 環境局 環境国際経済部 地域エネルギー推進課 係長 酒井 啓範 氏	14:00	14:20	20
9	いわき市の取り組み	いわき市 産業振興部 部長 小松 尚人 氏	14:20	14:40	20
10	長崎海洋アカデミーについて	長崎海洋産業クラスター形成推進協議会 エグゼクティブ コーディネーター 松尾 博志 氏	14:40	15:00	20
11	足利大学風力発電アカデミーについて	足利大学 特任教授 佐藤 義久 氏	15:00	15:20	20

テーマ2: 学会の取組について(司会:今村 博 副会長)

No.	仮題	ご講演者(予定)	始め	終り	時間(分)
12	人材育成と女性活躍に関するJWEAの取組	植田 祐子 WG長(WINC)	15:35	15:55	20
13	JWEAの研究会について	吉田 茂雄 委員長(九州大学)	15:55	16:05	10
14	ブレード研究会報告	松信 隆 主査(戸田建設)	16:05	16:25	20
15	空中風力発電研究会報告	藤井 裕矩 主査(TMIT)	16:25	16:45	20
16	日本の洋上風力導入目標を実現するために	本田 明弘(副会長)	16:45	17:15	30
	閉会挨拶	三保谷 明 副会長	17:15	17:20	5